

(報道発表資料)

2022年4月12日

南海電気鉄道株式会社
大阪ガス株式会社
西日本電信電話株式会社関西支店
堺市

SENBOKU スマートシティコンソーシアムの準備会を設立し、会員を募集します

～泉北ニュータウン地域でのスマートシティの取組をより一層推進～

南海電気鉄道株式会社(代表取締役兼 CEO 社長:遠北光彦)、大阪ガス株式会社(代表取締役社長:藤原正隆)、西日本電信電話株式会社関西支店(執行役員関西支店長:小川成子)及び堺市(市長:永藤英機)は、「SENBOKU New Design」及び「堺スマートシティ戦略」の理念や「SENBOKU スマートシティ構想」で示すコンセプトに基づき、公民がイコールパートナーとして取組を推進する SENBOKU スマートシティコンソーシアム(以下「コンソーシアム」)の準備会を設立します。

本取組に賛同し、協働で事業を推進して頂ける企業・団体・地方公共団体などの会員募集を開始します。

1. 準備会及びコンソーシアムの概要

準備会は、共に取り組む会員を募集し、コンソーシアムのビジョンや方向性を検討します。コンソーシアム組成後は、コンソーシアム運営委員会として、実証プロジェクトなどの企画・コーディネートを通じ、新しいサービスの地域への定着、持続的発展に向け取組を進めていきます。

コンソーシアムで計画している取組のイメージ等は別紙をご確認ください。

2. コンソーシアム設立予定日

2022年6月27日(月)

パートナー会員によるコンソーシアム設立総会を6月27日(月)に予定しております。

3. 会員の種別、会員募集及びお問い合わせ先

(1) 会員種別 ※会員の詳細は以下 WEB ページをご確認ください。

① パートナー会員

本取組に賛同し、別紙のいずれかの事業分野へ参加のうえ、自社の資源を活用し協働で事業を推進して頂ける企業・団体・地方公共団体など

② サポート会員

本取組に賛同し、参加を希望する企業・団体・地方公共団体など(参加する事業分野が未定の方)

(2) 会員募集及びお問い合わせ先

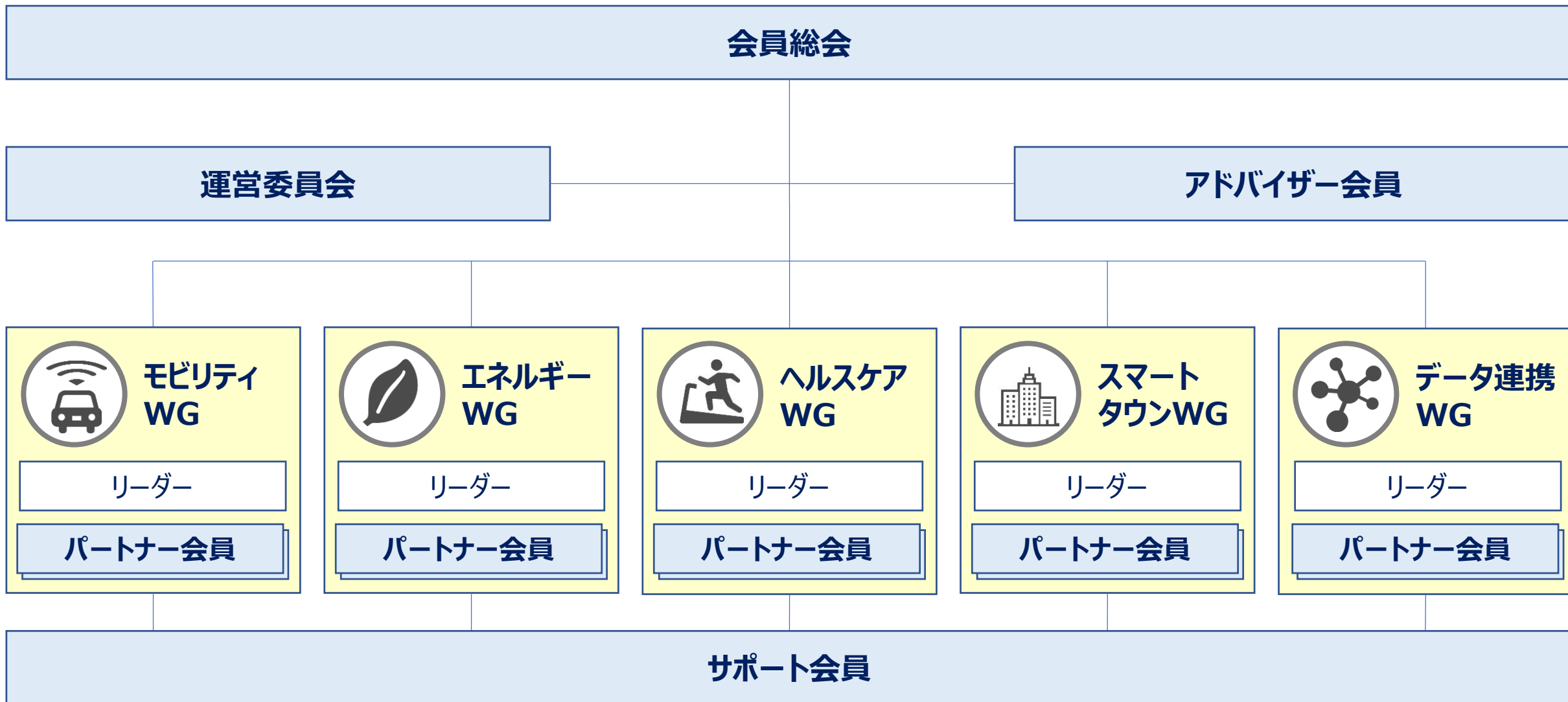
WEB ページにて承っています。

コンソーシアム準備会ホームページ(<http://senboku-smartcity.com>)

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、予めご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

別紙

SENBOKUスマートシティコンソーシアムの組織イメージ



各ワーキンググループのビジョン



モビリティWG

新しい移動手段の導入により、幅広い世代が距離や利用シーンに応じて最適な移動手段を選択できる環境をめざします。また、モビリティ×サービス事業の仕組みづくりにより楽しく充実した生活ができる泉北ニュータウン地域をめざします。



エネルギーWG

エネルギーの安定供給を通じて社会を支え、また社会のレジリエンス向上、低・脱炭素社会の実現や新しいライフスタイルへの対応など、時代の変化と地域特性を踏まえた、泉北ニュータウン地域をめざします。



ヘルスケアWG

未病予防分野におけるスマートヘルスケアプラットフォームを整備し、街の多様なコミュニティとシニアをつなぎ、運動習慣や計測習慣の定着と行動変容により、健康寿命が延伸できる泉北ニュータウン地域をめざします。



スマートタウンWG

ライフスタイルや価値観、行動様式が大きく変化するなか、住居や働き方、空間、コミュニティを未来志向でデザインし、多世代が互いに結びつき、身のまわりのあらゆることがスマートにソフトにつながる泉北ニュータウン地域をめざします。



データ連携WG

各ワーキンググループ及びワーキンググループ間のデータを連携することにより、様々なサービスがつながり、身のまわりのあらゆることがスマートにソフトにつながる泉北ニュータウン地域をめざします。



モビリティWGの取組イメージ



既存の移動手段に加え、次世代モビリティやICT技術など新たな製品・技術の活用可能性を検討し、多世代の様々な移動ニーズに対応した移動環境の形成や他サービスとの連携による生活利便性の向上をめざす

取組テーマ

シェアモビリティ



移動距離や利用シーンに応じたモビリティを選択・利用し、自立移動を実現

オンデマンド



既存の移動手段との共存により目的地までの移動利便を高める

サービスのモビリティ化



身近な場所で買い物や様々なサービスを気軽に便利に楽しむことができる環境の創出

シェアモビリティ・オンデマンド・サービスモビリティの利用利便向上に寄与する仕組みの検討や、データの相互流通によるサービスの高度化など生活利便向上に向けた「生活型MaaS※」の検討



データ連携WGの取組と連携

※生活型MaaS：移動手段と生活に係るサービスを連携させた仕組み



エネルギーWGの取組イメージ

既存のエネルギーインフラと再生可能エネルギーなどの新しいエネルギーリソースを組合せ、地域の低・脱炭素と安心・安全の実現をめざす

① 既存インフラと新しいエネルギーの組合せによる低・脱炭素化

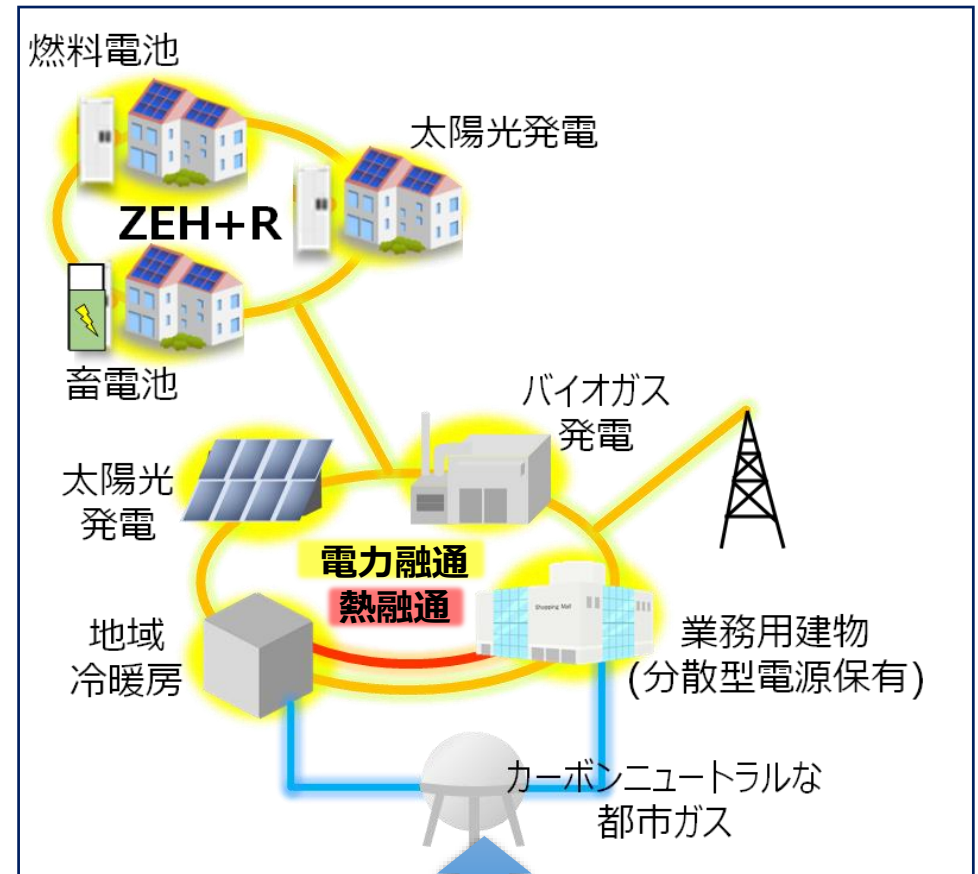
既存の地域冷暖房と分散型電源や再生可能エネルギーを組合せて最適に運用することで、低・脱炭素化を実現

② エネルギーを活用した安心・安全の実現

エネルギーの面的融通により、万一の災害時を想定した地域のBCP・LCPを確立

③ エネルギーデータの利活用をスマートシティへ実装

データ連携WGを介して各WGと連動し、エネルギーデータの利活用でQOL向上を実現



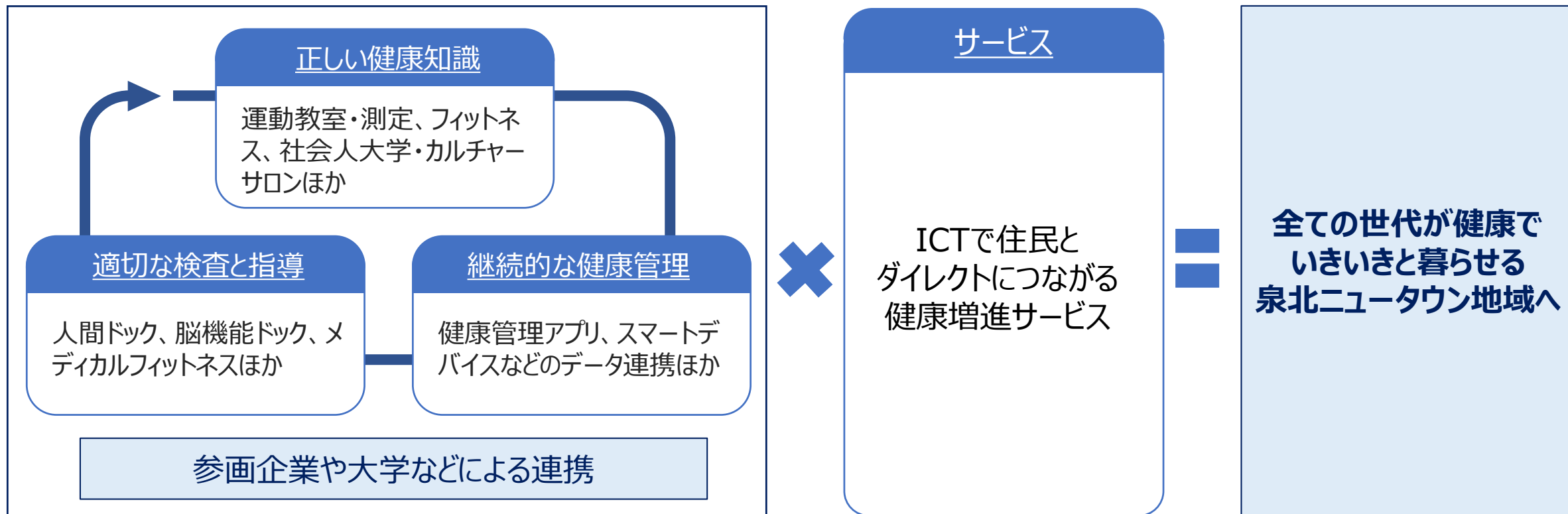
各WGの取組と連携

BCP:事業継続計画(Business Continuity Plan) LCP:生活継続計画(Life Continuity Plan)
ZEH+R:強靱性を兼ね備えたネットゼロエネルギーハウス(ZEH)(Zero Energy House + Resilience)



ヘルスケアWGの取組イメージ

ICTを活用しデータやエビデンスに基づいた健康増進の活動を進め、楽しみながら健康寿命の延伸や生活の質の向上をめざす



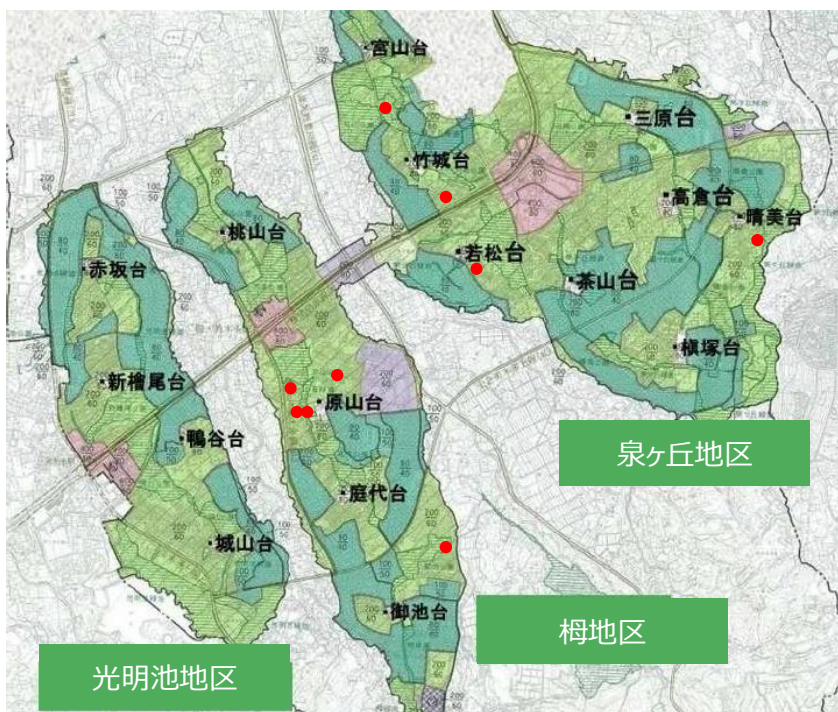
生活習慣病の予防と健康志向への行動変容を促進するため、個人の自発的な健康づくりと健康づくりに取り組むコミュニティの支援と合わせて、先進的なビジネスモデルづくりを行う。



スマートタウンWGの取組イメージ



住む人や訪れる人が便利で快適さを感じられるような先進的サービスの導入により、生活にイノベーションを生み出し、多角的な暮らしを愉しむことのできる泉北ニュータウン地域を創造する



出典：堺市 ● 泉北ニュータウン公的賃貸住宅活用地

既存の団地や住宅へのICT導入



出典：堺市

泉ヶ丘駅前活性化計画（南海電鉄）



情報インフラ	レジリエンス	文化・働き方	健康・緑環境
セキュリティ	交通	多世代交流	景観・建築

駅前や住宅地で多様なスマート機能・サービスなどを広く検討し、互いに結びつき、身の回りのあらゆるものごととつながる泉北ニュータウン地域をめざす



データ連携WGの取組イメージ

地域ポータル（仮称）の提供：大阪広域都市OS「ORDEN」を活用した各種取組の統合とデータ連携



※SakaI-D：ORDENが府民に提供予定の共通IDのうち、堺市民であるID

大阪広域都市OS【ORDEN】

コンソーシアム設立後の各社の役割（予定）

（1）堺市

- ・各種取組の調整、サポート、実証フィールドの提供

（2）南海電鉄

- ・泉ヶ丘駅周辺のアセットを活用した事業展開
- ・モビリティ、ヘルスケア、スマートタウンに関する事業展開

（3）大阪ガス

- ・泉ヶ丘駅周辺のエネルギーインフラ利活用
- ・低・脱炭素及びレジリエンス向上、エネルギー事業に関する事業展開

（4）NTT西日本

- ・堺市とのICT連携協定に基づくICT活用の助言、提案
- ・通信事業、データ連携に関する事業展開